

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成25年2月7日 (2013.2.7)

【公表番号】特表2012-513498(P2012-513498A)

【公表日】平成24年6月14日 (2012.6.14)

【年通号数】公開・登録公報2012-023

【出願番号】特願2011-542556(P2011-542556)

【国際特許分類】

C 0 8 J 5/18 (2006.01)

C 0 8 G 77/32 (2006.01)

C 0 9 K 3/18 (2006.01)

C 0 9 D 183/04 (2006.01)

【F I】

C 0 8 J 5/18 C F H

C 0 8 G 77/32

C 0 9 K 3/18 1 0 4

C 0 9 D 183/04

【手続補正書】

【提出日】平成24年12月12日 (2012.12.12)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

孔体積を画定する微小孔を含む疎水性で、非晶質であり、実質的に微多孔性の有機ケイ酸塩組成物を含むフィルムであって、

前記有機官能性ケイ酸塩組成物が、

溶媒と、

少なくとも 2 つの有機官能性加水分解性シランと、

酸と、を含む前駆体反応混合物から調製される、フィルム。

【請求項 2】

前記加水分解性シランが有機官能性アルコキシシランを含み、

少なくとも 1 つの有機官能性アルコキシシランが式：



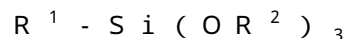
を有し、式中、 R^1 及び R^2 がアルキル又はアリール基である、請求項 1 に記載のフィルム。

【請求項 3】

前記加水分解性シランが、有機官能性アルコキシシランを含み、

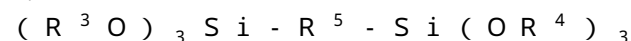
前記有機官能性アルコキシシランが、

式：



(式中、 R^1 及び R^2 がアルキル又はアリール基である) の有機官能性アルコキシシランと、

式：



(式中、 R^3 及び R^4 がアルキル又はアリール基であり、 R^5 がアルキレン、アリーレ

ン又はアラルキレン基である)の有機官能性アルコキシシランと、を含む、請求項1に記載のフィルム。

【請求項4】

基材を準備する工程、
前駆体反応混合物であって、
溶媒と、
少なくとも2つの有機官能性加水分解性シランと、
酸と、を含む、前駆体反応混合物を準備する工程、
前記基材上に前記前駆体混合物をコーティングする工程、並びに、
焼成されたフィルムを形成するのに十分な温度に、前記コーティングされた混合物を加熱する工程、を含む、フィルムの調製方法であって、ここで、前記フィルムが、孔体積を画定する微小孔を含む疎水性で非晶質であり、実質的に微多孔性の有機ケイ酸塩組成物を含む、方法。